

インバウンド購買意欲指数(2026 年第 2 四半期) の結果について

～訪日旅行が量から質へシフトする中、購買意欲は落ち着いた動き～

三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長:早乙女 実)と株式会社インジェスター(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:呉 希昌)は、全国の小売店を訪れる訪日外国人観光客の購買意欲について測定する指数「インバウンド購買意欲指数」の 2026 年第 2 四半期の結果を、下記のとおりまとめました。

◆ 2026 年第 2 四半期の動向について

- 現状水準 DI は、前四半期差で±0 ポイントの 55 と横ばいであった。
- 現状判断 DI は、前四半期差で+2 ポイントの 52 と横ばいであった。
- 先行き判断 DI は、前四半期差で+2 ポイントの 57 と横ばいであった。

◆ インバウンド購買意欲指数¹について

- 訪日外国人観光客によって生じる購買の動向を的確かつ迅速に把握し、関係分野における経営判断、景気判断等の参考資料とすることを目的として開発された指数です。
- 調査は毎月 2 回、月中と月末時点としており、アンケート回収期間はその後の 1 週間としています。
- 株式会社インジェスターが全国の小売店に派遣している販売員を調査対象とし、各店舗で取り扱われている全ての商品を調査対象品目としています。訪日外国人観光客による購買意欲の動向を敏感に察知できるよう、店頭で訪日外国人の接客を担当する者を調査客体としています。
- 主な調査事項は下記の 3 項目です。
 - ◇ 訪日外国人観光客による購買意欲の水準に対する現状判断(水準)
 - ◇ 前月と比較した訪日外国人観光客による購買意欲の方向性に対する現状判断(方向性)とその理由
 - ◇ 訪日外国人観光客による購買意欲の先行きに対する先行き判断(方向性)とその理由
- 調査客体から収集した判断内容を下表のとおり点数化し、その平均値を最低 0 点から最大 100 点となる指数(Diffusion Index、DI)として示しています。そのため、この指数では 50 より大きいほど「購買意欲が強い」、小さいほど「購買意欲が弱い」と判断されていることになります。

評価	現状水準	良い	やや良い	どちらともいえない	やや悪い	悪い
	現状判断	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
	先行き判断	良くなる	やや良くなる	変わらない	やや悪くなる	悪くなる
点数		+1	+0.75	+0.5	+0.25	0

¹ 本指数では、平均回答者数が 50 を下回る期間に対応した算出値は、参考値としている。

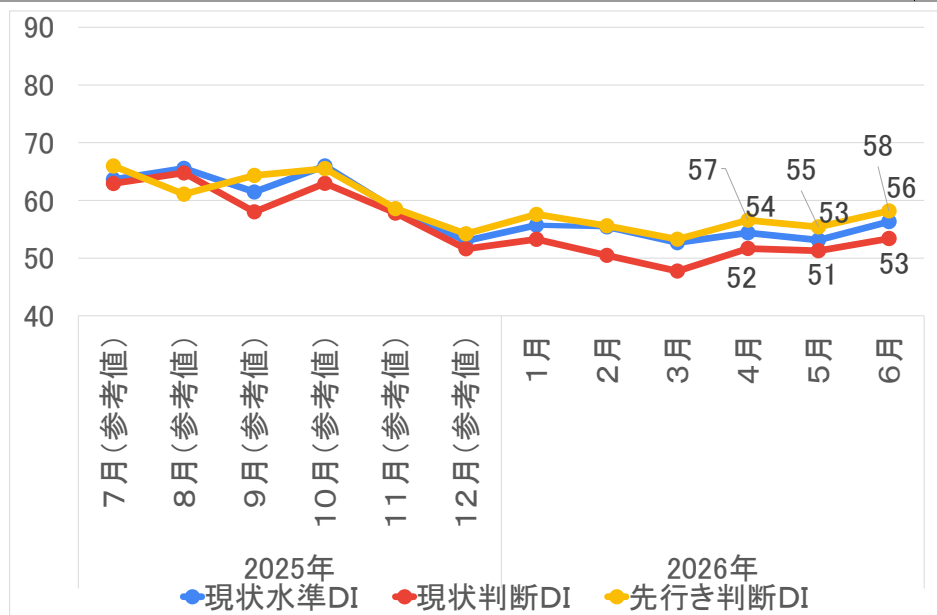
○インバウンド購買意欲指数値

<四半期系列>²

		現状水準 DI	現状判断 DI	先行き判断 DI	平均回答者数
2025 年	第 3 四半期(参考値)	64	62	64	37
	第 4 四半期(参考値)	59	57	59	36
2026 年	第 1 四半期	55	50	55	73
	第 2 四半期	55	52	57	107

<月次系列>³

		現状水準 DI	現状判断 DI	先行き判断 DI	平均回答者数
2025 年	7 月(参考値)	64	63	66	37
	8 月(参考値)	66	65	61	39
	9 月(参考値)	61	58	64	35
	10 月(参考値)	66	63	66	32
	11 月(参考値)	58	58	59	36
	12 月(参考値)	53	52	54	41
2026 年	1 月	56	53	58	64
	2 月	55	50	56	68
	3 月	53	48	53	88
	4 月	54	52	57	97
	5 月	53	51	55	106
	6 月	56	53	58	120



(出所) 当社作成

² 四半期系列は、月次系列(四捨五入前)の単純平均を、四捨五入して整数値にしたもの。

³ 月次系列は、原系列の単純平均を、四捨五入して整数値にしたもの。

◆ これまでの指数の推移について

➤ WHOによるパンデミック宣言により指数は急降下

2019年12月以降は、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大により、指数は3系列とも落ち込みました。2020年3月には現状水準DIが15、先行き判断DIが24と、それぞれ調査開始以降最低値となり、2020年4月には現状水準DIが最低値(13)を更新しました。

➤ インバウンドの受け入れ再開により指数が回復、先行き判断DIは現状判断DIを上回り推移

2022年以降は、外国人観光客の受け入れ再開により、指数は上昇基調で推移しました。ほぼ全ての時点で先行き判断DIが現状判断DIを上回り、コロナ禍以降のインバウンド回復の期待感が数値に表れたとみられます。

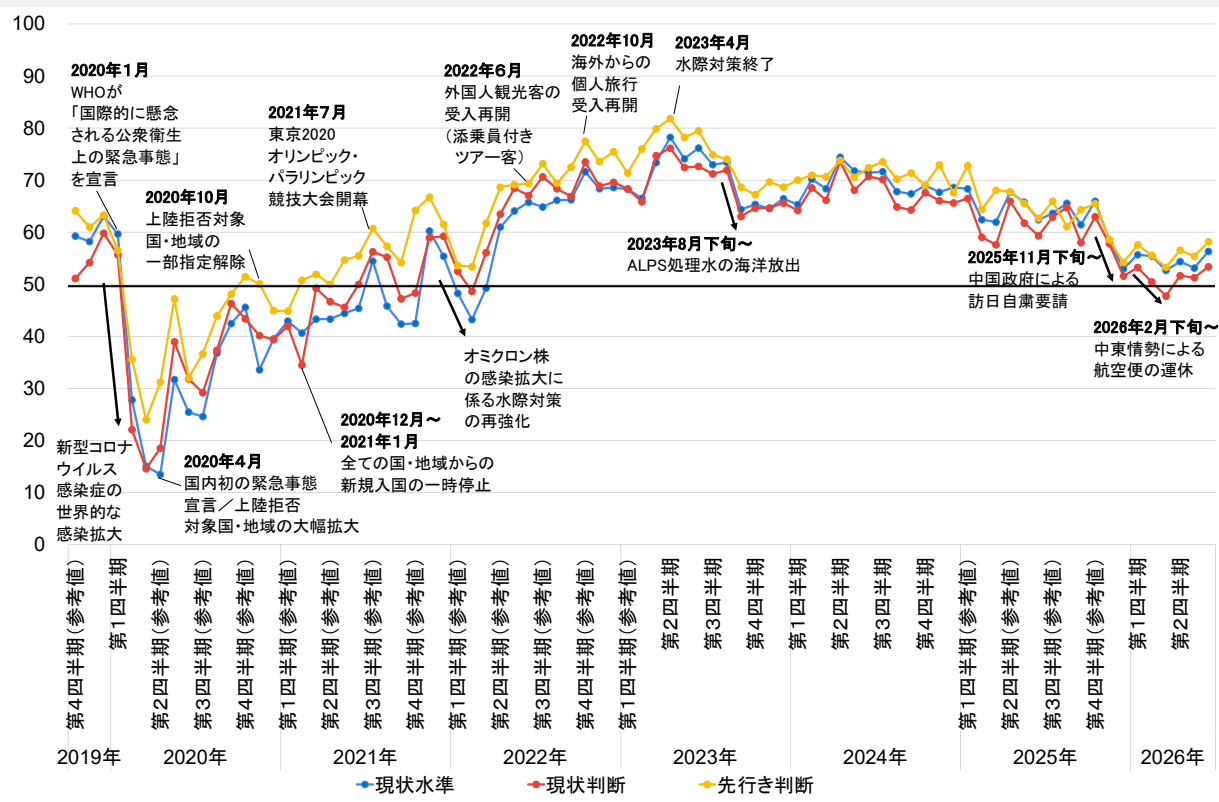
➤ ALPS処理水の海洋放出開始後、購買意欲は一時低下

外国人観光客の受け入れ再開後、指標は上昇傾向で推移していましたが、2023年8月下旬のALPS処理水の海洋放出開始後に指標は一時低下しました。

➤ 外国人観光客数拡大が続くも、中国政府による訪日自粛要請、中国発・中東経由の航空便の運休・減便は、指標に下押し圧力

外国人観光客数の拡大が続く、指数は高水準で推移しますが、2025年11月下旬以降、中国政府が訪日自粛を要請し、中国発の航空便の運休・減便が相次いだことで、指数は低下しました。2026年2月下旬以降は、中東情勢の悪化に伴い、中東経由の航空便が運休・減便し、指標に下押し圧力がかかるなど、引き続き変動要因があり、地政学リスクを含む海外情勢の影響を注視する必要があります。

インバウンド購買意欲指数の推移



(出所) 当社作成

各指数の原系列、四半期系列と月次系列の四捨五入前の値、各系列の地域別(関東、関西)、使用言語(英語、中国語)別、商品区分⁴別の値や、それぞれの方向性判断における回答者のコメントについては、個別に販売予定としておりますので、文末のお問い合わせ先までご連絡ください。

◆各組織の概要

■ 株式会社インジェスター

株式会社インジェスターは、世界、特にアジア地域でのビジネスシーンにおける「言葉」の壁を取り払い、情報を「正確に、早く、確実に」伝えることによって、お客様のビジネスの成功を強力にサポートしています。近年では、成田空港、羽田空港、関西空港など主要国際空港で訪日外国人向けのセールスプロモーションや各種リサーチを運営。そして、官公庁・地方自治体向けに、外国人向けコールセンター、通訳者派遣、外国語研修や資料翻訳など、クライアントニーズに合わせた幅広いサービスを展開しています。

(Web サイト) <https://www.injestar.co.jp/>

■ 三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング株式会社(MURC)

三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング株式会社は、三菱 UFJ フィナンシャル・グループ(MUFG)のシンクタンク・コンサルティングファームです。東京・名古屋・大阪を拠点に、国や地方自治体の政策に関する調査研究・提言、民間企業向け各種コンサルティング、経営情報サービスの提供、企業人材の育成支援、マクロ経済に関する調査研究・提言など、幅広い事業を展開しています。

(Web サイト) <https://www.murc.jp/>

【本件に関するお問い合わせ】

三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング株式会社

観光戦略室 副主任研究員 前河 一華、副主任研究員 片平 春樹

〒105-8501 東京都港区虎ノ門 5-11-2 オランダヒルズ森タワー

E-mail: swift@murc.jp

【報道機関からのお問い合わせ】

コーポレート・コミュニケーション室 竹澤、杉本 E-mail: info@murc.jp

⁴ 商品区分は 10 区分+その他である。区分の詳細はお問い合わせください。